

Road to 71 国体 ～選手強化の取組～

最終章

第71回国民体育大会強化委員会

第71回国民体育大会『岩手県選手団結団式』

平成28年9月2日、岩手県選手団総勢933名のうち約620名が岩手県営武道館に集結し、希望郷いわて国体に向け岩手県選手団結団式を開催しました。

式では、達増団長から『ひとり、チーム、競技の勝利を重ねてオール岩手の力にする時が来た。チームいわて、頑張りましょう』の挨拶をいただき、女子キャプテンを務めるホッケー成年女子の小沢みさき選手へ県旗が手渡されました。

そして監督・選手を代表して、バレーボール成年男子の岡崎希裕監督から『結果を恐れることなく、今こそチームいわてが束となり、愛する岩手がそうであるように、努力を惜しまず、最後の最後まで戦い抜くことを誓う』と宣誓がありました。また、ライフル射撃成年女子の佐々木千鶴選手が『復興に御支援いただいている全国の皆さんと、日頃から支えてくれる人たちへの感謝の気持ちを、最高のパフォーマンスと結果で伝えられるよう最後まで全力で挑戦する』と決意表明しました。

監督・選手一同は、地元いわて国体に出場できる誇りと使命を改めて認識するとともに、競技・種別の壁を越えたたくさんの仲間が同じ思いで戦いに臨むことを実感し、チームいわての一員として活躍することを胸に誓い、最後に全員で関の声を上げ結束しました。



第71回国民体育大会『岩手県選手団解団式』



今年1月27日から開催された冬季国体から好成績でバトンを引き継いだ本国体の岩手県選手団。9月4日から9月11日に開催された水泳競技会の熱気をそのままに、10月1日から10月11日までの本国体に挑みました。県勢は、初日から2種目優勝を飾り、4日連続の優勝や連日の入賞ラッシュと、11日間、毎日最高のパフォーマンスで県民に勇気と希望を与えました。そして、総合閉会式が行われた北上総合運動公園北上陸上競技場のフィールドで岩手県選手団の解団式を行いました。

目標であった8位以内に対し天皇杯2位、皇后杯2位と上位の入賞を果たす素晴らしい結果を収めた選手団は、団長の達増拓也知事（岩手県体育協会会長）から最高の賛辞をいただき、共に戦い抜いた仲間と互いを称え合い、全力を出し切った充実感と達成感、感動を噛みしめました。

男子キャプテンの高橋英輝選手から団長へ県旗を返還し、高橋光彦総監督の音頭で万歳三唱した選手団一同は、大成功を祝して、最後に達増団長を胴上げし、50年に一度の地元いわて国体に笑顔で幕を下ろしました。



TASTE THE FEELING®

